

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和6年度事業分)

施設名 山梨県立八ヶ岳牧場

所管課 農政部 畜産課

指定管理者 公益財団法人山梨県子牛育成協会

1 指定管理者の推移

導入年度	平成18年度					
指定管理者名	出資法人	指定期間			委託料総額(単位:円)	
財団法人山梨県子牛育成協会	○	H18.4.1	～	H23.3.31	5年	929,407,000
公益財団法人山梨県子牛育成協会 (H23.3.31まで財団法人)	○	H23.4.1	～	H28.3.31	5年	962,954,000
公益財団法人山梨県子牛育成協会	○	H28.4.1	～	R3.3.31	5年	976,117,000
公益財団法人山梨県子牛育成協会	○	R3.4.1	～	R7.3.31	4年	809,925,000

2 施設の概要

所 在 地	本場:北杜市小淵沢町大平10061 天女山分場:北杜市大泉町西井出8240-1
設 置 年 月 日	昭和43年4月1日
設 置 根 拠 (法 律 、 条 例 等)	山梨県立八ヶ岳牧場設置及び管理条例
設 置 目 的	農家家畜を受託放牧するとともに、県有牛を改良増殖し繁殖牛・肥育素牛を供給し、もって本県の畜産振興に資することを目的とする。
主 な 業 務 の 内 容	(1)利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (3)家畜の飼養管理及び改良増殖に関する業務 (4)牧草の栽培に関する業務 (5)家畜排せつ物のたい肥化に関する業務
主 な 施 設 内 容 (定 員 等)	○敷地面積 約583ha ○建物延面積6,202.67m ² ○建物の構造 RC、鉄骨造 ○建物の概要 ・八ヶ岳牧場看視舎 RC 250m ² ・避難舎 鉄骨造 918m ² ・分娩・衛生舎棟 389.67m ² ・畜舎 鉄骨造 772.8m ² ・育成牛舎 鉄骨造 581m ² ・家畜排せつ物処理施設 鉄骨造 1,811.2m ² ・育成牛舎 鉄骨造 1,080m ² ・飼料庫 400m ² ・哺育・育成牛舎 鉄骨造 725.44m ² ・堆肥処理施設 鉄骨造462.56m ² ○その他施設 ・草地:331ha(採草地77ha、放牧地254ha)
備 考 (改築工事等の状況、一括管理施設 等)	・令和2年12月3日 哺育・育成牛舎の新設 725.44m ² 工事費 134,999,700円 ・令和3年3月18日 堆肥処理施設の新設 462.56m ² 工事費 73,958,500円

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和6年度事業分)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
収入合計	239,305,830	246,999,300	270,813,145	265,173,204	251,893,505	
支出合計	226,437,113	239,960,238	263,311,019	259,835,939	239,438,921	
収支差額	12,868,717	7,039,062	7,502,126	5,337,265	12,454,584	

4 利用状況、利用者満足度の状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
利用実績	109,549頭	134,875頭	144,623頭	135,181頭	125,185頭	農家家畜の年間受託延べ頭数
	133頭	147頭	146頭	133頭	142頭	県有牛の供給頭数
利 満 用 足 度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえど満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和6年度)

農家家畜の年間受託延べ頭数については、目標を達成したものの125,185頭と前年比で▲9,996頭(▲7.4%)と大幅に減少した。
内訳をみると、乳用牛は酪農家が多数廃業したことにより受託頭数が過去最低頭数であったが、肉用牛については飼料価格等が高止まりする中にあって過去最高頭数であった。

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和6年度)

県内農家の離農の影響から、前年より減ったものの目標を上回る頭数の家畜を農家から受け入れることで、畜産農家の経営負担軽減に貢献している。また、農家家畜の預託だけでなく、県有牛の売却や堆肥の販売の業務も含め、利用者満足度の高い運営が行われている。
物価高騰の影響が長引く中、収支改善にも継続して取り組み、利用農家の要望に応えられる施設運営に引き続き取り組むこと。

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和6年度)

飼料費等が高止まりする中、経費節減に努め、畜産農家のニーズに応えてきた。
引き続き収支改善に取り組み経営基盤を強化する中で、本県の畜産振興に寄与していく。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

施設名 山梨県立ハケ岳牧場

所管課 農政部 畜産課

指定管理者 公益財団法人山梨県子牛育成協会

1 利用状況

(単位:人、%)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	受託頭数(延べ頭数)	109,549	134,875	144,623	135,181	125,185
	利用者数合計	109,549	134,875	144,623	135,181	125,185
	目標値	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000
利用率	実績／目標割合	91.3%	112.4%	120.5%	112.7%	104.3%
	目標値の設定方法	過去5年間の平均受託頭数で設定				
利用率	稼働率等(利用率)	300.1頭	369.5頭	396.2頭	370.4頭	343.0頭
	稼働率等(利用率) の算定方法	延べ受託頭数/営業日数(365日)				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	
----------	--

3 補修工事等の状況(令和6年度)

(単位:円)

管 ホイルローダー修理	598,498
管 暖房ポンプ修理・給湯ポンプ	397,100
管 スタータッシュ他36件	3,638,381

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件60万円未満の修繕等は指定管理者が実施

*ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和6年度)

(単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

5 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収 入	A 収入額計	239,305,830	246,999,300	270,813,145	265,173,204	251,893,505
	施設利用料	42,592,830	53,384,300	58,936,145	55,481,150	53,002,980
	指定管理委託料	196,713,000	193,615,000	192,404,000	188,910,357	198,890,525
	追加委託料(飼料肥料高騰)			19,473,000	20,781,697	
支 出	B 支出額計	226,437,113	239,960,238	263,311,019	259,835,939	239,438,921
	人件費	133,392,990	129,390,207	132,826,341	129,254,011	126,870,136
	修繕費	7,193,905	8,554,480	5,375,727	8,290,818	4,633,979
	光熱水費	3,764,812	4,277,964	5,721,347	4,911,670	5,706,870
	消耗品費	12,315,963	16,466,068	15,806,515	13,601,926	13,287,344
	飼料費	19,209,889	31,961,575	38,208,999	37,789,453	32,688,407
	燃料費	2,969,989	4,211,139	5,145,389	5,145,243	5,111,013
	医薬材料費	6,578,611	7,689,442	7,766,388	7,971,293	7,781,636
	原材料費	18,329,204	19,364,462	30,188,334	32,992,992	24,093,231
	工事請負費	2,299,000	485,100	1,962,400	535,260	
	保険料	908,520	1,024,400	1,156,650	1,081,000	1,051,460
	公課費	556,000	657,000	579,800	536,060	485,600
	消費税	12,916,600	9,741,700	12,951,000	12,498,100	12,789,499
	その他	2,854,775	3,168,334	2,725,102	2,688,241	2,040,394
	外部委託費	3,146,855	2,968,367	2,897,027	2,539,872	2,899,352
	電気・ガス・水道点検	3,146,855	2,968,367	2,897,027	2,539,872	2,899,352
	外部委託比率	1.4%	1.2%	1.1%	1.0%	1.2%
	県への納付金					
収支差額(A-B)		12,868,717	7,039,062	7,502,126	5,337,265	12,454,584
一人当たり指定管理者委託料*		1,795.7	1,435.5	1,330.4	1,397.5	1,588.8

* 指定管理者委託料÷利用者数(単位:円)

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

6 利用者満足度

実施方法等	実施時期:令和7年2月～3月 実施方法:令和6年度の預託利用者および売却牛と堆肥の購入者への アンケート(聞き取り・郵便) 回答数: 92名				
	満足	どちらかといえば 満足	どちらかといえば 不満	不満	
家畜の受託に対する満足度	100.0%				
県有家畜の売却に対する満足度	100.0%				
たい肥の売却に対する満足度	88.46%	11.53%			
ハケ岳牧場の事業に対する満足度	86.0%	12.0%	2.0%		
施設全般の満足度	90.0%	10.0%			
利用者の 主な意見	<p>【家畜の受託】 ・発育の悪かった牛を預託したところ、大きくなって帰ってきた。</p> <p>【県有家畜の売却】 ・更新のタイミングで育成妊娠牛の売却があれば利用したい。 ・妊娠牛の売却があれば経産・育成牛ともに利用したい。育成妊娠牛の売却であれば高齢牛と更新したい。</p> <p>【たい肥の売却】 ・毎回質の良い堆肥を分けて頂き助かっている。配達の際も臨機応変に対応してもらってありがたい。</p>				
利用者の意見 への対応	<p>【家畜の受託】 ・飼料費の高騰などを踏まえ、利用者のニーズに適切に対応していく。</p> <p>【県有家畜の売却】 ・血統や育種価を重視し県有牛の改良を進め、更に優良な子牛の生産に努めていく。家畜改良や飼料管理に関する情報提供や技術の共有を図り、県全域での管理技術の向上を図っていく。</p> <p>【たい肥の売却】 ・高品質なたい肥の生産並びに販売促進に努めていく。</p>				

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

7 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	施設、備品等の適切な保全管理に努めてきた。令和6年度は、農機具(ロールベーラ)が頻繁に故障したことで、サイレージ用の牧草生産量が半減するなど、業務に大きな影響を及ぼした。こうしたことを回避するためにも農機具など備品の計画的な更新、管理を徹底していく必要がある。	施設、機械の老朽化が進む中、適切な保全管理を行っている。定期的な点検等による管理をお願いするとともに、施設や備品の更新については、適宜検討していきたい。
運営業務	県内飼養戸数・頭数が減少傾向にある中、預託した家畜のほとんどが人工受精または受精卵移植で受胎させてもらえることが評価され、利用者の多くはリピーターとなっている。ヨーネ病の再発防止に向け、県有牛全頭を対象とした年1回の定期検査や母牛の分娩前のPCR検査を実施し、保菌牛の早期発見、淘汰並びに牛舎消毒等の対策を徹底してきた。	県内農家の離農による影響から受託延べ頭数はやや減少したが、受託家畜への人工授精等による受胎率は高く、利用農家の要望に十分に応えている。引き続き衛生対策の徹底に努めるとともに、効率的な運営に努めること。
利用状況	売却頭数は、繁殖雌牛の飼養頭数が増加したため142頭と前年度比で9頭(6.8%)増加した。一方、預託利用頭数は、酪農家の多数廃業に伴い乳用牛が過去最低頭数となったが、肉用牛が大幅に増加したため、全体では125,185頭と目標頭数を上回った。	預託利用頭数は目標頭数を超えており、利用希望農家の希望に応えており、県有牛の売却頭数も十分確保されている。引き続き農家の要望に応えられるよう努めること。
収支状況	冬期貯蔵飼料の生産量が足りず、不足分を購入粗飼料に依存せざるを得なかつたが飼料費を節減したり、肥料の散布体系の見直しにより原材料費が節減され黒字となった。	物価高騰が続く中、経費の見直しにより収支状況はやや改善している。引き続き、収支状況の改善に努めること。
自主事業		
利用者満足度	ほとんどの項目において、「満足」「どちらかといえば満足」と回答しており、満足度は非常に高い。	農家家畜の預託、県有牛の売却、堆肥の売却のいずれにおいても利用者の満足度が高く、非常に評価できる。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

8 施設所管課による定期評価結果

施策推進業務の内容	評価	改善内容
家畜の改良増殖に関する業務	受託家畜への人工授精等による受胎率は目標を超える97.7%と非常に高く、利用農家の要望に十分に応えられることは高く評価できる。	利用農家の満足度向上のため、人工授精ならびに受精卵移植技術の向上に引き続き努めること。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

9 管理体制(組織図)

令和6年4月1日現在

